

お茶の水女子大学学报

平成 9 年 11 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇学内規則	2
◎お茶の水女子大学における民間機関等との 共同研究取扱規程の一部を改正する規程..	2
◎お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部 を改正する内規	3
◇学 事	5
◎平成10年度お茶の水女子大学学生募集要項 (一般選抜)	5
◎平成10年度お茶の水女子大学私費外国人留 学生(学部留学生)特別選抜学生募集要項	21
◎平成9年9月卒業式及び学位記授与式 ...	27
◇各種委員会委員	28
◇人 事	42
◇諸 報	48
◎平成9年秋の叙勲	48
◎中学校教育功労者表彰	48
◎研修	48
◎海外渡航	49
◎附属中学校創立50周年記念事業	52
◎六大学等事務系中堅職員研修	54
◎総合防災訓練	56
◎健康診断	56
◎レクリエーション行事	57

◇日 誌 58

学内規則

○お茶の水女子大学規則第43号

お茶の水女子大学における民間機関等との共同研究取扱規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成9年9月26日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学における民間機関等との共同研究取扱規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学における民間機関等との共同研究取扱規程（平成7年5月24日制定）の一部を次のように改正する。

第15条第1項中「共同研究完了の日から7年」を「出願したときから10年」に改め、同項に次のただし書を加える。

ただし、この期間は必要に応じて更新することができるものとする。

同条第2項中「共同研究完了の日から7年」を「出願したときから10年」に改め、同項に次のただし書を加える。

ただし、この期間は必要に応じて更新することができるものとする。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第44号

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規を次のように定める。

平成9年9月26日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学奨学基金運営内規の一部を改正する内規

お茶の水女子大学奨学基金運営内規（昭和41年1月8日制定）の一部を次のように改正する。

第2条の表人間文化研究科奨学基金の奨学金の授与対象の欄中「大学院人間文化研究科」を「大学院人間文化研究科博士後期課程」に改め、同表池田摩耶子記念奨学基金、池田重記念奨学基金の奨学金の授与対象の欄中第2項を削り、第3項を第2項とする。

第5条の表を次のように改める。

基金の名称	委員長	委員	委員の選考
保井・黒田奨学基金	理学部長	関係教官4人ないし6人	関係教官は当該学部長が推薦する。
被服学奨学基金	生活科学部長	関係教官3人ないし5人	同上
食物学奨学基金	生活科学部長	関係教官3人ないし5人	同上
家庭経営学奨学基金	生活科学部長	関係教官3人ないし5人	同上
人間文化研究科奨学基金	大学院人間文化研究科長	関係教官4人ないし6人	研究科長が推薦する。
池田摩耶子記念奨学基金	学生部長	大学院人間文化研究科担当教官1人	大学院人間文化研究科担当教官は研究科長が、各学部教官は当該学部長が、外
池田重記念奨学基金		文教育学部、理学部及び生活科学部の教官各1人 外国人留学生担当教官1人	

学基金		人	国人留学生担当 教官は学生部長 が推薦する。
-----	--	---	------------------------------

附 則

- 1 この内規は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 池田摩耶子記念奨学基金及び池田重記念奨学基金に係る奨学金の授与対象のうち、平成9年3月31日に現に大学院人文科学研究科、大学院理学研究科及び大学院家政学研究科に在学する者については、改正後の内規にかかわらず、なお、従前の例による。

学 事

○平成10年度お茶の水女子大学学生募集要項（一般選抜）

1 学部・学科別募集人員

学部名	学 科 等 名	入学定員	募 集 人 員		備 考
			前期日程	後期日程	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	60	36	14	推薦入学10名
	言 語 文 化 学 科	88	61	27	
	人 間 社 会 科 学 科	44	34	10	
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	30			
	「舞踊教育学コース」		17	—	(前期日程のみ募集)
	「音楽表現コース」		3	7	推薦入学 3名
	小 計	222	151	58	推薦入学13名
理 学 部	数 学 科	22	13	4	推薦入学 5名 帰国子女特別選抜 若干名
	物 理 学 科	22	15	4	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	化 学 科	23	15	5	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	生 物 学 科	25	17	4	推薦入学 4名 帰国子女特別選抜 若干名
	情 報 科 学 科	40	23	7	推薦入学10名 帰国子女特別選抜 若干名
		小 計	132	83	24
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	70	46	12	推薦入学12名
	人 間 生 活 学 科	76	50	12	推薦入学14名
	小 計	146	96	24	推薦入学26名
	合 計	500	330	106	推薦入学64名 帰国子女特別選抜 若干名

注1 文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」は、前期日程のみの募集で、後期日程の募集は行わない。

注2 理学部の帰国子女特別選抜の若干名は、前期日程に含む。

入学定員の減員計画について（予告）

本学の入学定員については、上記の表のとおりであるが、下記の学部・学科等において入学定員の減員計画を予定している。

文教育学部 人文科学科では60人を57人に、言語文化学科では88人を84人に、人間社会科学科では44人を42人に、芸術・表現行動学科では30人を29人にする減員計画を予定している。

理学部 数学科では22人を20人に、物理学科では22人を20人に、化学科では23人を20人にする減員計画を予定している。

生活科学部 生活環境学科では70人を63人に、人間生活学科では76人を68人にする減員計画を予定している。

この減員計画は、平成10年度予算の関係で現在は未確定であるが、詳細については、平成10年度政府予算案の決定後（平成10年1月頃）、「募集要項」（追加）で発表する予定である。

2 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成10年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成10年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成10年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成10年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3 出願手続

(1) 出願期間

前期日程、後期日程とも平成10年1月26日（月）から2月4日（水）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、2月3日（火）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

志願者は、出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者 …………… 文教育学部事務部

理学部志願者 …………… 理学部事務部

生活科学部志願者 …………… 生活科学部事務部

〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学

(3) 出願について

① 試験日程間の併願について

試験日程グループ間の併願については、「前期-前期」、「後期-後期」、「前期-公立A」、「後期-公立B」の組み合わせで併願することはできない。

② 本学の併願について

本学の【前期日程】に出願する者が、本学の【後期日程】を併願してもよい。

③ 本学又は他の国公立大学（「私立産業医科大学」を含む。以下同じ）の「前期日程試験」に合格し、平成10年3月14日（土）までに入学手続きを行った者は、「後期日程試験」を受験してもその合格者とはならない。

④ 本学又は他の国公立大学の推薦入学の合格者は、本学の個別学力検査等（第2次試験）を受験してもその合格者とはならない。

ただし、当該大学の推薦入学の辞退を許可されたものは除く。

⑤ 本学に出願する者は、各学部とも【前期日程】又は【後期日程】のいずれであっても受験を志望する学科はそれぞれ一つの学科に限る。なお、【前期日程】と【後期日程】で志望する学科が異なっても差し支えない。

⑥ 本学の推薦入学及び帰国子女特別選抜の志願者で、合格とならなかった者が同じ学部に出願する場合は、出願書類等のうち、調査書及び健康診断書は提出しなくてもよい。

⑦ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(4) 出願書類等

1	出願カード (志願者名票) (写真票) (受験票)	本学所定のもの。 「出願カード記入上の注意」(17ページ)を参照し、記入すること。 文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があるので、該当するカードに記入すること。 各学部の前期日程用には「平成10年度大学入試センター試験成績請求票」の(A前用)を、各学部の後期日程用には(B後用)をそれぞれ所定欄に貼付すること。
2	入学志願者マークカード	「入学志願者マークカード記入上の注意」(19ページ)を参照し、本学所定のマークカードに記入すること。
3	調査書	出身学校長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は当該試験等の成績証明書を提出すること。
4	実技関係調査用紙	文教育学部芸術・表現行動学科を志願する者のみ本学所定の用紙で提出すること。
5	健康診断書	平成8年3月以前の高等学校卒業生及び出願資格(3)に該当する者は「視力、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)(出願前3か月以内のもの。)を提出すること。平成9年3月高等学校卒業生及び平成10年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
6	検定料	郵便局振出しの17,000円の「普通為替証書」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。 (注)(1) 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 (2) 上記(1)に該当する者は、平成10年3月31日までに申し出ること。 (3) 上記(1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検定料納付書 (原符・領収証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、裏面に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し50円切手を貼付すること。 領収証書には受験番号が記載されているので、大切に保管すること。
8	受験許可書	大学に在学している者は、学長・学部長・学生部長のいずれかが本学の受験を許可した証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)
9	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼付し、志願者の住所氏名及び郵便番号を記入すること。
10	あて名票	合格通知に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
11	合格者受験番号表申込用紙 (電子郵便)	希望する者は、本学所定の用紙を用い580円分の切手を貼ること。

備 考

- ① 出願カードは文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があり、その他の出願書類は〔前期日程用〕と〔後期日程用〕の2種類があるので、志望する学部の提出書類を確認のうえ提出すること。
- ② 前期日程と後期日程の両方に出願する場合（併願）は、2種類の出願書類等をそれぞれ所定の封筒で提出すること。
- ③ 志願用封筒下欄の志願者欄に志望学科等を明記すること。
また、前期日程の文教育学部及び生活科学部志願者のうち次に該当する者は、受験を希望する学力検査受験区分の国語又は数学のいずれかに○をつけること。

文教育学部 人文科学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科「音楽表現コース」
生活科学部 人間生活学科

(5) 身体に障害のある者の出願

本学に入学を志望する者のうち、身体に障害がある者及び次表に該当する者で、受験上特別な措置を希望する者については、事前協議を行うので、出願に先立ち本学入学主幹室に申し出て（電話可）、「受験特別措置協議申請書」を受領のうえ、12月19日（金）までに必要書類を添えて提出すること。

なお、日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場の設定等との関係から特別措置として取り扱うこととしているので、前記と同様に出願に先立ち本学入学主幹室に申し出ること。

お茶の水女子大学入学主幹室 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
電 話 (03) 5978-5151~2

障害の種別	障 害 の 程 度
視覚障害者	1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなるとみとめられるもの
聴覚障害者	1 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状況が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状況が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

4 大学入試センター試験で受験を要する教科等

本学に入学を希望する者は、推薦入学及び帰国子女特別選抜への出願を除き、下表に示す平成10年度大学入試センター試験を受験していなければ、出願し、受験しても入学許可は得られないので十分注意すること。

特に、*印科目の受験資格に留意すること。

文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数
人文学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	4教科
言語文化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	
人間社会学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	4教科
芸術・表現行動学科 「舞踊教育学コース」	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	「音楽表現コース」 後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	3教科

〔注〕「舞踊教育学コース」は、前期日程のみの募集である。

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数		
理学部 数学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科		
	後期日程				
物理学科	前期日程				
	後期日程				
化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科		
	後期日程				
生物学科	前期日程				
	後期日程				
情報科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科		
	後期日程				
生活科学部 生活環境学科	前期日程			国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 } から1 公民 } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科
	後期日程				
人間生活学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 } から1 公民 } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科		
	後期日程				

* 大学入試センター試験の「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
(注) 大学入試センター試験で、指定した教科・科目の範囲内で2科目以上受験している場合は、3学部とも高得点の科目の成績を用いる。

【旧教育課程履修者に対する経過措置】

旧教育課程履修者(高等学校に平成6年4月以降に入学し、平成10年3月までに卒業又は卒業見込みの者以外の者。以下同じ)に対する経過措置として、旧教育課程履修者は、本学が課す大学入試センター試験の「数Ⅰ・数A」に対し「旧数Ⅰ」を、「数Ⅱ・数B」に対し「旧数Ⅱ」を選択解答できるものとする。

また、倫理については旧教育課程「倫理」の範囲から出題する問題の選択解答を認める。

5 本学の入学試験

(1) 個別学力検査期日

【前期日程】

文教育学部	平成10年2月25日(水)	(「舞踊教育学コース」実技検査)
//	26日(木)	(「舞踊教育学コース」及び「音楽表現コース」実技検査)
理学部	平成10年2月25日(水)	
生活科学部	平成10年2月25日(水)	

【後期日程】

文教育学部	平成10年3月12日(木)	(「音楽表現コース」実技検査)
理学部	平成10年3月12日(木)	
生活科学部	平成10年3月12日(木)	

(2) 個別学力検査等の教科・科目等

文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	個別学力検査等の教科・科目等	備考
人文科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数と複素数平面)
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
言語文化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	小論文	
人間社会科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	面接	
芸術・表現行動学科	前期日程	「舞踊教育学コース」実技検査 「音楽表現コース」 国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1) 実技検査	「舞踊教育学コース」 では、後期日程の募集 は行わない。
	後期日程	「音楽表現コース」 実技検査	

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法の区分	個別学力検査等の の教科・科目等	備 考
理学部 数学科	前期日程	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*） 理（物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、生B・生Ⅱから1）	数A*（数と式、数列） 数B*（ベクトル、複素 数と複素数平面） 数C*（行列と線形計算、 いろいろな曲線）
	後期日程	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*）	
物理学科	前期日程	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数、理（物B・物Ⅱ）と（数Ⅲ・数C*、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから1）	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
化学科	前期日程	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 理（化B・化Ⅱ）と（物B・物Ⅱ、生B・生Ⅱから1）	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生物学科	前期日程	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 理（生B・生Ⅱ）と（物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱから1）	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
情報科学科	前期日程	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*） 数、理（数Ⅲ・数C*、物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから2）	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生活科学部 生活環境学科	前期日程	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 外（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1）	数A*（数と式、数列） 数B*（ベクトル、複素 数と複素数平面）
	後期日程	面接	
人間生活学科	前期日程	国（国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ） } から1 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） } 外（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1）	
	後期日程	面接	

【旧教育課程履修者に対する経過措置】

三学部ともに、旧教育課程履修者に対する経過措置として、数学については、新・旧両教育課程に共通する範囲から出題する。

(3) 試験教科・科目別配点

文教育学部

【前期日程】

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験					合計	
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	国語	数学	外国 語	実 技		計
												人文学科	
言語文化学科		100	50	100	50	100	400	200	—	200	—	400	800
人間社会科学科		100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	—	400	800
芸術・表現行動学科	舞踊	100	50	100	50	100	400	—	—	—	200	200	600
	音楽	100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	※	400	800

※ 音楽表現コースの実技については、総合判定の資料とする。

〔注〕人文学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科は、()から1科目選択

理学部

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験						合計		
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	数 学			理 科			計	
								*数学 共通	*数学 専門	*数学	物理	化学			生物
								数 学 科		50	—	50	50		100
物 理 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	(100)	200	(100)	(100)	400	650
化 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	200	(100)	400	650
生 物 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	(100)	200	400	650
情 報 科 学 科		50	—	50	50	100	250	100	100	(100)	(100)	(100)	(100)	400	650

〔注〕数学科、物理学科、化学科、生物学科は、()から1科目選択、情報科学科は、()から2科目選択

*数学共通〔数Ⅰ・数A（数と式、数列）、数Ⅱ・数B（ベクトル、複素数と複素数平面）〕

*数学専門〔数学共通、数Ⅲ・数C（行列と線形計算、いろいろな曲線）〕

*数 学〔数Ⅲ・数C（行列と線形計算、いろいろな曲線）〕

生活科学部

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験				合計	
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	国語	数学	外国 語		計
											生活環境学科	
人間生活学科		150	100	100	50	100	500	(250)	(250)	250	500	1000

〔注〕生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

〔注〕人間生活学科は、()から1科目選択

文教育学部

【後期日程】

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験				合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	小論文	面接	実技	計	
人文科学科	100	(100)	100	(100)	100	400	—	—	—	—	400
言語文化学科	100	50	100	50	100	400	200	—	—	200	600
人間社会科学科	100	(100)	100	(100)	100	400	—	100	—	100	500
芸術・表現行動学科	100	—	100	—	200	400	—	—	※	—	400

※ 実技については、総合判定の資料とする。

〔注〕人文科学科、人間社会科学科は、()から1科目選択

〔注〕芸術・表現行動学科の「舞踊教育学コース」は、前期のみで後期の募集は行わない。

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験		合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	数学	計	
数学科	※	—	※	※	100	100	300	300	400
物理学科	50	—	200	200	100	550	—	—	550
化学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
生物学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
情報科学科	100	—	200	100	200	600	—	—	600

※ 数学科では、大学入試センター試験の受験を要する教科として国語、数学、理科及び外国語の4教科を課しているが、合否の判定には、外国語のみを用いる。

ただし、第1段階選抜を実施する場合は、大学入試センター試験の国語（50点）、数学（50点）、理科（50点）、外国語（100点）の配点とする。

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	面接
生活環境学科	—	—	200	200	200	600	※
人間生活学科	200	—	200	—	200	600	※

※ 面接については、総合判定の資料とする。

〔注〕大学入試センター試験の生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

(4) 入学試験日時割
【前期日程】

学部・学科等		日 時	
		2月25日(水)	
		26日(木)	
文 教 育	人 文 科 学 科	国語又は数学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50
	言 語 文 化 学 科	国 語 10:00~11:40	
	人 間 社 会 科 学 科	国語又は数学 10:00~11:40	
学 部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学コース」	実 技 10:00~	実 技 10:00~
	「音楽表現コース」	国語又は数学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50 実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数学共通 10:00~11:40	数学専門・選択(物理、化学、 生物) 13:10~16:10
	物 理 学 科		物理・選択(数学、化学、生物) 13:10~16:10
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10
	情 報 科 学 科		数学専門・選択(物理、化学、 生物、数学) 13:10~16:10
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50
	人 間 生 活 学 科	国語又は数学 10:00~11:40	

【後期日程】

日 時		3月12日 (木)
学部・学科等		
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	個別学力検査は課さない。
	言 語 文 化 学 科	小 論 文 10:00~11:30
	人 間 社 会 科 学 科	面 接 10:00~
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「音楽表現コース」	実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数 学 10:00~13:00
	物 理 学 科	個別学力検査は課さない。
	化 学 科	個別学力検査は課さない。
	生 物 学 科	個別学力検査は課さない。
	情 報 科 学 科	個別学力検査は課さない。
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	面 接 10:00~
	人 間 生 活 学 科	

(5) 実技検査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

- ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

- ① モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイムなどの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創作（課題は当日提示する。）

- イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ① バレーボール
② バスケットボール
③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 聴 音：1～4声部
イ. 新曲視唱：（前期日程）旋律のみ、（後期日程）旋律のみ・伴奏付きの2題
ウ. 歌 唱：イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
エ. ピアノ：J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

- ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）又は外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

- イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択

- ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

6 入学者の選抜方法

(1) 入学者の選抜

入学者の選抜は、本学が課す大学入試センター試験、個別学力検査、面接、小論文、実技検査、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

(2) 選抜方式

本学の一般選抜の個別学力検査等は、分離・分割方式とし、【前期日程】と【後期日程】に分けて実施する。

ただし、文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」では、【前期日程】のみで実施する。

(3) 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行い、その合格者に対して本学の個別学力検査等を行う。

① 第1段階の選抜方法

本学各学部の定める「大学入試センター試験で受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点9～10ページに記載）を主とし募集人員の約6倍（ただし、理学部数学科【後期日程】では、約10倍）を第1段階選抜の合格者とする。

② 2段階選抜を実施しない学部・学科

文教育学部	人文科学科	【後期日程】
理 学 部	物理学科	〃
	化学科	〃
	生物学科	〃
	情報科学科	〃

③ 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果について

第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合の選抜の結果は、平成10年2月12日（木）の正午頃、学内本部棟前掲示板に掲示する。

実施しない場合 志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。

実施した場合 合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」用紙を郵送する。

なお、【前期日程】では、2月17日（火）、【後期日程】では、3月2日（月）を過ぎても到着しないときは、出願学部事務部へ問い合わせること。

(4) 個別学力検査等の受験について

受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること。

なお、「大学入試センター試験受験票」は入学手続きの際にも必要となるので、受験後も紛失しないように保管しておくこと。

7 合格発表

【前期日程】

3月10日（火）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

【後期日程】

3月20日（金）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

（注）電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

合格者には、発表当日、あて名票（出願書類10）の住所に合格通知書を郵送する。

※ 電子郵便による「合格者受験番号表」について

電子郵便の内容は、志願した学部ごとに合格者全員の受験番号が記載されている。従ってこれに自分の受験番号が載っていない場合は不合格である。

出願書類を郵送する際、本学所定の用紙に必要事項記入のうえ580円切手を貼付して提出すること。（電子郵便のあて先は、必ず本人が受け取ることでできるところとし、提出後のあて先の変更はできない。）

合格発表から入学手続締切りまでの期間が短いため、合格発表当日、確認に来ることができない者は、送付を希望することが望ましい。

電子郵便は、合格発表日に到着する予定であるが、万一、未着の場合は小石川郵便局〔TEL (03)3815-7155・7156〕へ直接問い合わせること。

この「合格者受験番号表」の不着及び遅配を理由とした入学手続期間経過後の手続は一切認めない。

（注）上記の電子郵便以外の合否電報・電話等は、本学とは一切関係なく、大学は責任を持ってないので注意すること。

8 入学手続等

(1) 入学手続日

学 部	日 程	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
文教育学部	前期	3月13日（金）	10：00～12：00、13：00～16：00	本学文教育学部一号館 第一会議室
	日程	3月14日（土）		
理学部	後期	3月26日（木）		
	日程	3月27日（金）		

（注）所定の期日までに手続きをしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 留意事項

本学に入学手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできない。

(3) 手続事項

提示書類	平成10年度本学の受験票及び平成10年度大学入試センター試験受験票
入 学 料	275,000円

授 業 料	<p>前期分 234,600円〔年額 469,200円〕</p> <p>(注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。</p> <p>(注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。</p> <p>(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。</p>
-------	--

9 追加合格の通知

- (1) 入学手続締切期日後、募集人員に欠員が生じた場合には、3月28日以降に合格者の追加を行う。
- (2) 追加合格者への通知は、電話で行うので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。
- (3) 入学手続等については、この要項「8 入学手続等」に準ずるが、手続期日等については追加合格の通知（電話）を行う際に連絡する。
 なお、合格者の追加を行うか否かについての問い合わせは、テレホンサービスを利用すること。

10 募集要項（追加）の請求方法

減員計画による募集要項（追加）は、平成10年度政府予算案の決定後（平成10年1月頃）に発表する。

〔交付場所〕 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
 お茶の水女子大学 入学主幹室入学試験係

〔郵送による請求方法〕

郵送を希望する者は80円切手を貼った返信用封筒（定型内）に宛名を明記したものを同封の上、封筒の表に「募集要項（追加）請求」と朱書きして、請求すること。

11 問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入学主幹室入学試験係	TEL (03) 5978-5151~2
〃 文教育学部事務部	TEL (03) 5978-5162
〃 理学部事務部	TEL (03) 5978-5287
〃 生活科学部事務部	TEL (03) 5978-5722

問い合わせの場合は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。

12 テレホンサービスについて

- 募集要項（追加）請求方法等
 平成10年1月5日（月）～1月26日（月）
- 出願状況（各学部の学科別志願倍率等）
 平成10年1月27日（火）～2月11日（水）
- 第1段階選抜の実施の有無
 平成10年2月10日（火）正午頃
- 追加合格の実施の有無
 平成10年3月27日（金）18時以降

電話番号	(03) 3946-5109
------	----------------

**○平成10年度お茶の水女子大学私費外国人留学生
(学部留学生) 特別選抜学生募集要項**

1 募集学部・学科・人員

学 部	学 科
文 教 育 学 部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
生 活 科 学 部	生活環境学科、人間生活学科

募集人員は、各学科とも若干名

2 出願資格

次の(1)及び(2)の両方に該当する日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留学」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者。

(1) 次の①、②、③、④のいずれかに該当するもの

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成10年(1998年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定した者
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成10年(1998年)3月31日までに満18歳に達する者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成10年(1998年)3月31日までに満18歳に達する者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成10年(1998年)3月31日までに満18歳に達する者

(2) 平成9年度日本語能力試験(1級)及び平成10年度私費外国人留学生統一試験を受験した者
なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、一般志願者用の募集要項により手続きをすること。

3 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者(代理人でも差し支えない。)は、出願期間内に下記(3)の出願書類等を持参のうえ提出すること。(郵送による出願は認めない。)

(2) 出 願 先

東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 学務課留学生係
 { 地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分 }
 { 地下鉄有楽町線 護国寺駅下車 徒歩5分 }

(3) 出願書類等

- ア. 出願カード(志願者名票・写真票・受験票)……… 本学所定の用紙を用い、「出願カード記入上の注意」(7ページ)を参照し、記入すること。写真を貼付のこと。
- イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書(日本語訳をつけること。)
バカロレア資格・アビトゥア資格により出願をする者はその証書を持参すること。
- ウ. 日本語による自筆の作文(1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。)
- エ. 平成9年度日本語能力試験(1級)及び平成10年度私費外国人留学生統一試験の受験票の写し
- オ. 健康診断書(本学所定の用紙を用い、出願3か月以内に作成したもの)
- カ. 出願時に日本国内に在住している者………外国人登録済証明書(在留資格・在留期間明記のもの)
出願時に日本国外に在住している者………戸籍謄本又は出生証明書等
- キ. あて名票(合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。郵便切手は貼付しないでよい。)
- ク. 検定料 17,000円
- ケ. 検定料納付書………本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
- コ. 受験票返送用封筒(本学所定の封筒に350円切手を貼付し、志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。)

4 出願期間

平成9年(1997年)12月15日(月)～12月22日(月)(ただし、土、日曜日を除く。)
 [受付時間] 10時～11時30分、13時～15時

5 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文教育学部	言語文化学科	文科系	全科目
	人文科学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目
理学部	全 学 科	理科系	全科目
生活科学部	生活環境学科	理科系	全科目
	人間生活学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目

6 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成10年(1998年)2月12日(木)頃発送する。なお、2月16日(月)を過ぎても到着しないときは、学務課留学生係へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」を必ず持参すること。

7 入学者の選抜方法

- (1) 志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験(1級)の成績、私費外国人留学生統一試験、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により総合して合格者を判定する。

8 本学の入学試験

- (1) 期 日 平成10年(1998年)2月25日(水)、26日(木)
- (2) 試験場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
- (3) 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	人文科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	言語文化学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間社会科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	芸術・表現行動 学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理 学 部	数 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	物 理 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 理 科 (物理) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	化 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	情 報 科 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数 学・理 科 (数学、物理、化学、生物から2科目選択) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

数A* (数と式、数列)

数B* (ベクトル、複素数と複素数平面)

数C* (行列と線形計算、いろいろな曲線)

(注) 学力検査科目欄の外国語(英語、ドイツ語、フランス語)は、母国語を選択することはできない。

(4) 実技検査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題

ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

イ. 面接

2. 選択課題（下記のア、イのいずれかを選択すること）

ア. 舞踊（下記の①と②を行う）

① モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイムなどの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

② 創作（課題は当日提示する）

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う）

① バレーボール

② バスケットボール

③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題

ア. 聴音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2. 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① 日本歌曲

② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声または任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

(5) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

(6) 入学試験日時割

		2月25日(水)		2月26日(木)			
文教 教育学部	人文科学科 言語文化学科 人間社会科学科	実技検査 10:00～		日本語 10:00 11:40	外国語 13:10 14:50	口述試験 15:20～	実技検査
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース						
	音楽表現コース						
理 学 部	数 学 科	数 学 共 通 10:00～11:40	数学 13:10～15:10	10:00 11:40	13:10 14:50	15:20～	
	物 理 学 科		物理・数学 13:10～16:10				
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10～16:10				
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10～16:10				
	情 報 科 学 科		数学・選択(物理、化学、 生物、数学) 13:10～16:10				
生 活 科 学 部	生活環境学科	数 学 10:00～11:40					
	人間生活学科						

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

9 合格発表

平成10年(1998年)3月10日(火)正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

合格者には、発表当日、「日本国内の連絡先」あてに合格通知書を郵送する。

10 入学手続等

(1) 入学手続日

学 部	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
全 学 部	3月13日(金)	10:00~12:00, 13:00~16:00	文教育学部1号館1階第一会議室
	3月14日(土)	〃	〃
	3月26日(木)	〃	〃
	3月27日(金)	〃	〃

(注) 上記「手続日」欄に示したいずれかの日時に、入学手続を行うこと。
所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

(2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	275,000円
授 業 料	前期分 234,600円〔年額 469,200円〕 (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。

11 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

12 受験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学 学務課留学生係
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
☎ 03-5978-5143

○平成9年9月卒業式及び学位記授与式

○平成9年9月卒業式及び学位記授与式

・卒業者数（7名）

文教育学部 4名

理 学 部 3名

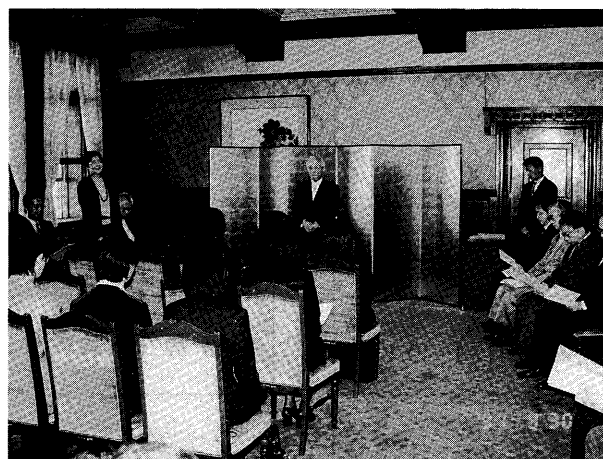
・修了者数（9名）

修士課程 人文科学研究科 4名

理 学 研 究 科 1名

家 政 学 研 究 科 2名

博士課程 人間文化研究科 2名



学 位 授 与

(課程修了によるもの)

授与番号	博士の専攻 分野の名称	氏 名	本 籍	博 士 論 文 名	授 与 年 月 日
甲第 79号	博 士 (人文科学)	方 美 麗	台 湾	物に対する働きかけを表す連語 —日中文法対照研究—	平成9年9月30日
甲第 80号	博 士 (理 学)	宮 崎 敦 子	東 京 都	卵母細胞予定動物極への卵核胞の 移動・付着の機構	平成9年9月30日

◆各種委員会委員◆

1. () は事務担当課
2. *印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のを掲載
(編集中の移動についても
できる限り補正をした)

評議会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	9. 2.16~13. 2.15
文 教 育 学 部 学 長	平野 由紀子	8.10. 1~10. 9.30
理 学 部 長	石 和 貞 男	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 学 長	小 林 彰 夫	8.10. 1~10. 9.30
家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	9.10. 1~10. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	9. 4. 1~12. 3.31
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	8.11. 1~10.10.31
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	9. 2.16~11. 3.31
文 教 育 学 部 学 部 授	上 野 浩 道	9.10. 1~11. 9.30
文 教 育 学 部 学 部 授	市 古 夏 生	9.10. 1~11. 9.30
文 教 育 学 部 学 部 授	山 本 秀 行	9.10. 1~11. 9.30
理 学 部 学 部 授	柴 田 文 明	9.10. 1~11. 9.30
理 学 部 学 部 授	松 本 勲 武	9.10. 1~11. 9.30
理 学 部 学 部 授	真 島 秀 行	9.10. 1~11. 9.30
生 活 科 学 部 学 部 授	小 川 昭 二 郎	8.10. 1~10. 9.30

生 活 科 学 部 学 部 授	島 田 淳 子	8.10. 1~10. 9.30
生 活 科 学 部 学 部 授	本 間 清 一	8.10. 1~10. 9.30
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 部 授	三 木 紀 人	9. 4. 1~11. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 部 授	富 永 靖 徳	9. 4. 1~11. 3.31

(評議会規則第3条に定める者)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	五十嵐 脩	
カ リ キ ュ ラ ム 委 員 長	駒 城 素 子	
ジ ェ ン ダ ー 研 究 セ ン タ ー 長	利 谷 信 義	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	倉 田 忠 男	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

基本計画委員会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	
文 教 育 学 部 学 部 長	平野 由紀子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 学 部 長 家 政 学 部 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 部 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	

附 学 校 部 属 長	石 川 宏	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

自己点検・評価検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	* 佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由 紀 子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 学 長 家 政 学 部 学 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 長	徳 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 教 授	市 古 夏 生	
理 学 部 教 授	富 田 功	
生 活 科 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 助 教 授	岡 崎 眸	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 助 教 授	今 野 美 智 子	
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 学 長	利 谷 信 義	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 学 長	倉 田 忠 男	
附 図 書 館 属 長	大 口 勇 次 郎	
附 学 校 部 属 長	石 川 宏	

学 生 部 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

国際交流委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	* 佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由 紀 子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 学 長 家 政 学 部 学 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 長	徳 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 助 教 授	村 松 賢 一	
理 学 部 教 授	福 田 豊	
生 活 科 学 部 部 講 師	柴 坂 寿 子	9. 4. 1~11. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	渡 辺 ヒサ子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	西 尾 道 子	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
文 教 育 学 部 助 教 授	本 郷 逕 子	9. 4. 1~11. 3.31
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

将来構想検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教授	鷹野光行	8.10. 1~10. 9.30
文教育学部 助教授	岩崎千鶴	
理学部 教授	真島秀行	
理学部 助教授	藤代一成	
生活科学部 教授	袖井孝子	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 助教授	松浦秀治	
大学院人間 文化研究科 教授	藤原正彦	9. 4. 1~11. 3.31
大学院人間 文化研究科 教授	柴田文明	
ジェンダー 研究センター 教授	原ひろ子	8.10. 1~10. 9.30
生活環境 研究センター 助教授	富永典子	

発明委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 学長	平野由紀子	8.10. 1~10. 9.30
理学部長	石和貞男	
生活科学部 家政学部長	小林彰夫	
文教育学部 教授	内藤俊史	
理学部 教授	細矢治夫	8.10. 1~10. 9.30
理学部 教授	福田豊	

生活科学部 助教授	田辺新一	8.10. 1~10. 9.30
大学院人間 文化研究科 助教授	村田容常	9. 4. 1~11. 3.31
生活環境 研究センター 教授	倉田忠男	8.10. 1~10. 9.30

組換えDNA実験安全委員会（庶務課）

官 職		氏 名	任 期
研究者	理学部 教授	*清水 碩	7.12.16 ┆ 9.12.15
研究者	生活環境 研究センター 教授	大橋昌子	
自然科学	理学部 教授	松本勲武	
自然科学	生活科学部 助教授	村田容常	
人文科学	文教育学部 教授	羽入佐和子	7.12.16 ┆ 9.12.15
社会科学	生活科学部 助教授	山本政人	
官職指定	保健管理 センター所長	永川祐三	
官職指定	理事 学務部長	菊池昭夫	
官職指定	生活科学部 事務部長	薄葉章	7.12.16 ┆ 9.12.15
安全 主任者	理学部 教授	馬場昭次	

共同研究委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	8.10. 1~10. 9.30
文教育学部 学長	平野由紀子	

理学部長	石和貞男	
生活科学部長	小林彰夫	
大学院文化研究科長	徳丸吉彦	
ジェンダー研究センター長	利谷信義	
生活環境研究センター長	倉田忠男	
事務局長	橋本幹夫	

大学資料委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
図書館長	*大口勇次郎	8. 5.22~10. 3.31
文教育学部教授	小風秀雅	
理学部教授	竹尾富貴子	
生活科学部教授	小池三枝	
文教育学部教授	秋山光文	
文教育学部教授	鷹野光行	
ジェンダー研究センター教授	館かおる	

事務改善研究委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	井之上純孝	

会計課長	高橋平治	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	川野由美子	
学生課長	森廣美	
入学主幹	木村弘利	
庶務課長補佐	中島武幸	
会計課長補佐	加藤久雄	
施設課長補佐	小永井耕一	
学務課長補佐	中野公敏	
文教育学部長	高野佳征	
理学部長	菊池昭夫	
生活科学部長	薄葉章	
附属図書館長	菅野精子	

レクリエーション運営委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	井之上純孝	
会計課長	高橋平治	
施設課長	鈴木重之	

学務課長	川野由美子
学生課長	森廣美
入学主幹	木村弘利
文教育学部長 事務	高野佳征
理事務部長	菊池昭夫
生活科学部長 事務	薄葉章
附属図書館長 事務	菅野精子
庶務課長 補佐	中島武幸
会計課長 補佐	加藤久雄
施設課長 補佐	小永井耕一
研究協力 室長	古賀智
大学院室長 事務	川島清人
附属学校部長 事務室	中野公敏

ジェンダー研究センター運営委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
ジェンダー 研究センター 長	*利谷信義	
文教育学 部長	平野由紀子	
理学部長	石和貞男	
生活科学 部 家政学部長	小林彰夫	

大学院 人間文 科 研究科 長	徳丸吉彦	
附属 図書館 長	大口勇次郎	
ジェンダー 研究センター 教授	原ひろ子	
ジェンダー 研究センター 教授	館かおる	
文教育学 部 教授	天野正子	
理学 部 教授	室伏きみ子	8. 5.21~10. 3.31
生活科学 部 教授	田中辰明	
大学院人間 文化研究科 教授	清水碩	9. 4. 1~10. 3.31
事務局長	橋本幹夫	

生活環境研究センター運営委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
生活環境 研究センター 長	*倉田忠男	
文教育学 部長	平野由紀子	
理学部長	石和貞男	
生活科学 部 家政学部長	小林彰夫	
生活環境 研究センター 教授	五十嵐脩	
生活環境 研究センター 教授	大橋昌子	
生活環境 研究センター 助 教授	富永典子	
文教育学 部 教授	千歳壽一	9. 4. 1~11. 3.31

理 学 部 授 教	松 本 勲 武	8. 4. 1~10. 3.31
生活科学部 教 授	田 中 辰 明	
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
大学院人間 文化研究科 教 授	芦 原 坦	9. 4. 1~11. 3.31
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

共通機器センター運営委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
センター長	平 野 恒 夫	8.12. 1~10.11.30
文教育学部 教 授	春 日 喬	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 教 授	千 歳 壽 一	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 授	室 伏 きみ子	8. 4. 1~10. 3.31
理 学 部 授	浜 谷 望	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 教 授	小 川 昭二郎	8. 4. 1~10. 3.31
生活科学部 助 教 授	村 田 容 常	9. 4. 1~11. 3.31
大学院人間 文化研究科 教 授	松 本 勲 武	8. 4. 1~10. 3.31
大学院人間 文化研究科 教 授	林 正 男	9. 4. 1~11. 3.31
生活環境 研究センター 教 授	大 橋 昌 子	9. 4. 1~11. 3.31

予算委員会 (会計課)

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由紀子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 学 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 長	德 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 教 授	春 日 喬	
文 教 育 学 部 教 授	千 歳 壽 一	9. 4. 1~10. 9.30
理 学 部 授	松 本 勲 武	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 授	塚 田 和 美	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	富 田 守	9. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	9. 4. 1~11. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	上 野 浩 道	9. 4. 1~11. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	清 水 碩	9. 4. 1~10. 3.31
附 属 書 館 長	*大 口 勇次郎	
ジェンダー 研 究 センター 長	利 谷 信 義	
生 活 環 境 研 究 センター 長	倉 田 忠 男	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
会 計 課 長	高 橋 平 治	

防災委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由 紀 子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 学 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 函 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
学 生 部 長	五 十 嵐 脩	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	永 川 祐 三	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
庶 務 課 長	井 之 上 純 孝	
会 計 課 長	高 橋 平 治	
施 設 課 長	鈴 木 重 之	
学 務 課 長	川 野 由 美 子	
学 生 課 長	森 廣 美	

購入物品機種選定委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 谷 隆	8. 4. 1~10. 3.31

文 教 育 学 部 助 教 授	*石 黒 節 子	8. 4. 1~10. 3.31
理 学 部 助 教 授	浜 谷 望	
理 学 部 助 教 授	富 田 功	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 助 教 授	倉 田 忠 男	
生 活 科 学 部 助 教 授	本 間 清 一	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 助 教 授	大 塚 惠	9. 4. 1~11. 3.31

施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由 紀 子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 学 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 学 長	徳 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 助 教 授	永 原 惠 三	9.10. 1~11. 9.30
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 谷 隆	9.10. 1~11. 9.30
理 学 部 助 教 授	福 田 豊	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 助 教 授	馬 場 昭 次	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 助 教 授	小 池 三 枝	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 助 教 授	田 中 辰 明	8. 4. 1~10. 3.31

大学院人間文化研究科教授	富 永 靖 徳	9. 4. 1~11. 3.31
大学院人間文化研究科助 教 授	杉 田 孝 夫	9. 4. 1~11. 3.31
附 属 属 長 函 書 館	大 口 勇 次 郎	
附 属 属 長 学 校 部	石 川 宏	
ジェンダー研究センター長	利 谷 信 義	
生 活 環 境 研 究 センター長	倉 田 忠 男	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
カリキュラム委員会委員長	駒 城 素 子	

館山施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 長	*石 和 貞 男	
文 教 育 学 部 助 教 授	本 田 郁 子	
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 山 進	9.10. 1~11. 9.30
理 学 部 授 教	清 水 碩	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 助 教 授	久 保 田 紀 久 枝	8.10. 1~10. 9.30
臨 海 実 験 所 所 長	根 本 心 一	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 中 学 校 教 頭	井 上 泰 次	

附 属 属 長 小 学 校 教 頭	星 野 征 男	
附 属 属 長 幼 稚 園 教 頭	榊 田 正 子	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
会 計 課 長	高 橋 平 治	
施 設 課 長	鈴 木 重 之	

廃水管理委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
生 活 環 境 研 究 センター 助 教 授	*富 永 典 子	9.10. 1~11. 9.30
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 谷 隆	
理 学 部 授 教	松 浦 悦 子	
理 学 部 授 教	浜 谷 望	
理 学 部 授 教	益 田 祐 一	
生 活 科 学 部 助 教 授	久 保 田 紀 久 枝	
生 活 科 学 部 助 教 授	仲 西 正	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	永 野 肇	9. 4. 1~11. 3.31
附 属 高 等 学 校 教 頭	石 井 朋 子	9.10. 1~11. 9.30
附 属 中 学 校 教 頭	佐々木 和 枝	
会 計 課 長	高 橋 平 治	

施設課長	鈴木重之	
------	------	--

カリキュラム委員会 (学務課)

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	秋山光文	8.4.1~10.3.31
文教育学部 教授	安田次郎	8.4.1~10.3.31
文教育学部 助教授	菅野健	9.4.1~11.3.31
理学部 教授	榎本陽子	8.4.1~10.3.31
理学部 教授	菅本晶夫	9.4.1~11.3.31
理学部 教授	益田祐一	9.4.1~11.3.31
生活科学部 教授	*駒城素子	8.4.1~10.3.31
生活科学部 助教授	杉田孝夫	8.11.27~10.3.31
生活科学部 助教授	山本政人	9.4.1~11.3.31
学生部長	五十嵐 脩	

公開講座委員会 (学務課)

官職	氏名	任期
文教育学部 助教授	栗原尚子	8.12.1~10.11.30
文教育学部 教授	羽入佐和子	7.12.1~9.11.30
文教育学部 教授	中村弓子	7.12.1~9.11.30
理学部 教授	山下貴司	8.12.1~10.11.30

理学部 助教授	小野 薫	9.4.1~9.11.30
理学部 助教授	山田真二	9.4.1~9.11.30
生活科学部 教授	*田中辰明	7.12.1~9.11.30
生活科学部 助教授	田辺新一	8.12.1~10.11.30
生活科学部 助教授	御船美智子	8.12.1~10.11.30
学生部長	五十嵐 脩	

学生委員会 (学生課)

官職	氏名	任期
文教育学部 助教授	三浦 謙	8.4.1~11.3.31
文教育学部 助教授	内田忠賢	8.7.20~10.3.31
文教育学部 助教授	竹村和子	9.4.1~11.3.31
理学部 助教授	*吉田裕亮	7.4.1~10.3.31
理学部 教授	室伏きみ子	8.4.1~11.3.31
理学部 助教授	小野 薫	9.4.1~11.3.31
生活科学部 助教授	鈴木恵美子	7.4.1~10.3.31
生活科学部 助教授	村田容常	9.4.1~11.3.31
生活科学部 助教授	久保田紀久枝	9.4.1~11.3.31
学生部長	五十嵐 脩	

共用体育施設等管理運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	*杉 山 進	8. 6.16~10. 6.15
学 生 部 長	五十嵐 脩	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
会 計 課 長	高 橋 平 治	
学 生 課 長	森 廣 美	

保健管理センター運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
保 健 管 理 セ ン ター 所 長	*永 川 祐 三	
文教育学部 助 教 授	杉 山 進	9. 4. 1~11. 3.31
文教育学部 助 教 授	本 田 郁 子	8. 4. 1~10. 3.31
理 学 部 教 授	藤 枝 修 子	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 教 授	前 田 ミチエ	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	富 田 守	9. 4. 1~11. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	楡 木 満 生	9. 4. 1~10. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	會 川 義 寛	9. 4. 1~11. 3.31
附 属 小 学 校 教 諭	高 木 悦 子	8. 4. 1~10. 3.31
学 生 部 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

入学試験委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐 藤 保	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
文 教 育 学 部 学 長	平 野 由 紀 子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
文教育学部 助 教 授	永 原 恵 三	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 助 教 授	熊 谷 圭 知	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 教 授	笠 原 勇 二	8. 4. 1~10. 3.31
理 学 部 教 授	塚 田 和 美	9. 4. 1~11. 3.31
生 活 科 学 部 教 授	無 藤 隆	8. 4. 1~10. 3.31
生 活 科 学 部 助 教 授	大 塚 恵	9. 4. 1~11. 3.31
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
保 健 管 理 セ ン ター 所 長	永 川 祐 三	
情 報 処 理 セ ン ター 長	細 矢 治 夫	

入学者選抜方法研究委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	内 田 忠 賢	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 助 教 授	石 口 彰	9. 4. 1~11. 3.31

理学部 教授	笠原 勇二	8. 4. 1~10. 3.31
理学部 教授	*塚田 和美	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 助教授	御船 美智子	8. 4. 1~10. 3.31
生活科学部 助教授	田辺 新一	9. 4. 1~11. 3.31
学生部長	五十嵐 脩	
カリキュラム 委員会 委員長	駒城 素子	

学芸員課程委員会 (文教育学部事務部)

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	春日 喬	8.10. 1~10. 9.30
文教育学部 教授	小川 剛	
文教育学部 教授	*鷹野 光行	
文教育学部 教授	秋山 光文	
文教育学部 教授	安田 次郎	
文教育学部 助教授	熊谷 圭知	
文教育学部 教授	市古 夏生	
理学部 教授	山下 貴司	
生活科学部 助教授	吉村 佳子	

理学部附属臨海実験所運営委員会 (理学部事務部)

官職	氏名	任期
理学部長	*石和 貞男	
理学部附属 臨海実験所 長	根本 心一	
大学院人間 文化研究科 教授	富永 靖徳	8. 4. 1~10. 3.31
理学部 教授	松本 勲武	
理学部 教授	山下 貴司	
理学部 講師	清本 正人	9. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 教授	千歳 壽一	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 助教授	内田 忠賢	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 教授	本間 清一	8. 4. 1~10. 3.31
生活環境 研究センター 教授	大橋 昌子	
会計課長	高橋 平治	
施設課長	鈴木 重之	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会

(理学部事務部)

官職	氏名	任期
理学部	*石和 貞男	
RI実験室長	松本 勲武	
放射線 取扱主任者	古田 悦子	
文教育学部 助教授	杉谷 隆	8. 4. 1~10. 3.31

理学部 教授	浜谷 望	8.10. 1~10. 9.30
理学部 教授	芦原 坦	
理学部 助教授	小川 温子	
生活科学部 助教授	大塚 恵	9.10. 1~11. 9.30
生活環境 研究センター 助教授	富永 典子	

理学部極低温実験室運営委員会（理学部事務部）

官職	氏名	任期
理学部長	*石 和 貞 男	
極低温実験 室 長	浜谷 望	
大学院人間 文化研究科 教授	伊藤 厚子	8. 4. 1~10. 3.31
理学部 教授	永野 肇	
理学部 教授	根本 心一	
生活科学部 教授	畑江 敬子	

情報処理センター運営委員会（理学部事務部）

官職	氏名	任期
情報処理 センター長	*細 矢 治 夫	8.10. 1~10. 9.30
情報処理 センター主任 理学部助教授	浅本 紀子	
文教育学部 教授	千歳 壽一	
文教育学部 助教授	石口 彰	

理学部 教授	平野 恒夫	8.10. 1~10. 9.30
理学部 助教授	小林 功佳	9. 4. 1~10. 9.30
生活科学部 教授	畑江 敬子	8.10. 1~10. 9.30
生活科学部 助教授	田辺 新一	
大学院人間 文化研究科 助教授	耳塚 寛明	
ジェンダー 研究センター 教授	館 かおる	
生活環境 研究センター 助教授	富永 典子	
附属 図書館 長	大口 勇次郎	
学生部長	五十嵐 脩	
カリキュラム 委員会 委員長	駒城 素子	

附属図書館運営委員会（附属図書館事務部）

官職	氏名	任期
附属 図書館 長	*大口 勇次郎	
文教育学部 助教授	古田 啓	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部 助教授	佐藤 光子	9. 4. 1~10. 9.30
理学部 教授	亀井 理	8. 4. 1~10. 3.31
理学部 助教授	鷹野 景子	
生活科学部 教授	袖井 孝子	
生活科学部 助教授	大塚 恵	

大学院人間文化研究科助教授	出口哲生	9. 6. 1~11. 5.31
大学院人間文化研究科教授	相原茂	9. 6. 1~11. 5.31
ジェンダー研究センター教授	原ひろ子	8. 5.11~10. 3.31
生活環境研究センター教授	大橋昌子	8. 4. 1~10. 3.31
カリキュラム委員会委員長	駒城素子	

附属学校委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
附学校部属長	*石川宏	
文教育学部教授	海老根静江	9. 4. 1~11. 3.31
理学部教授	藤枝修子	8. 4. 1~10. 3.31
生活科学部教授	島田淳子	8. 4. 1~10. 3.31
事務局長	橋本幹夫	
附小学校属長	高島元洋	
附中学校属長	田宮兵衛	
附高等学校属長	渡辺ヒサ子	
附幼稚園属長	黒田淑子	
附小学校教頭	星野征男	
附中学校教頭	井上泰次	
附属高等学校教頭	早崎捷治	

附幼稚園教頭	榊田正子	
--------	------	--

附属学校教育研究委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
附学校部属長	*石川宏	
文教育学部助教授	牛江ゆき子	9. 2.16~10. 3.31
理学部教授	藤枝修子	8. 4. 1~10. 3.31
生活科学部教授	牧野カツコ	8. 4. 1~10. 3.31
文教育学部人間社会科学科助教授	駒込武	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部人間生活学科助教授	伊藤美奈子	9. 4. 1~10. 3.31
附小学校属長	高島元洋	
附中学校属長	田宮兵衛	
附高等学校属長	渡辺ヒサ子	
附幼稚園属長	黒田淑子	
附小学校教頭	星野征男	
附中学校教頭	井上泰次	
附属高等学校教頭	早崎捷治	
附幼稚園教頭	榊田正子	
附小学校教諭	相原貴史	8. 4. 1~10. 3.31
	成田信子	9. 4. 1~11. 3.31

附 属 中 学 校 教 諭	山 梨 八重子	8. 4. 1~10. 3.31
	加々美 勝 久	9. 4. 1~11. 3.31
附 属 高 等 学 校 教 諭	木 村 政 子	8. 4. 1~10. 3.31
	中津川 義 治	9. 4. 1~11. 3.31
附 属 幼 稚 園 教 諭	伊集院 理 子	8. 4. 1~10. 3.31
	田 中 三保子	9. 4. 1~11. 3.31

大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	上 野 浩 道	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	田 中 真砂子	
附 属 函 書 館 長	大 口 勇次郎	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
学 生 部 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	

創立120周年記念事業特別委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*佐 藤 保	
文 教 育 学 部 長	平 野 由紀子	
理 学 部 長	石 和 貞 男	
生 活 科 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
文 教 育 学 部 教 授	窪 添 慶 文	
文 教 育 学 部 教 授	秋 山 光 文	
理 学 部 教 授	小 川 洋 輔	
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	五十嵐 脩	
生 活 科 学 部 教 授	島 田 淳 子	

人 事

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 採 用			
9. 9. 1	塚 本 る み	助 手 (理学部)	
9. 10. 1	辰 巳 豊	附属小学校教諭	
◇ 昇 任			
9. 10. 1	亀 井 理	教 授 (理学部)	助教授 (理学部)
"	前 田 ミチエ	"	"
"	長 谷 部 ヤエ	教 授 (生活科学部)	助教授 (生活科学部)
"	會 川 義 寛	"	"
"	畑 江 敬 子	"	"
"	館 かおる	教 授 (ジェンダ-研究センター)	助教授 (ジェンダ-研究センター)
◇ 転 任			
9. 10. 1	降 籬 孝	助教授 (山形大学教育学部)	附属小学校教諭
◇ 併 任			
9. 10. 1	小 林 彰 夫	家政学部長 併任期間 平成10年3月31日	(家政学部教授)
"	市 古 夏 生	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	(文教育学部教授)
"	山 本 秀 行	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	"
"	上 野 浩 道	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	"
"	柴 田 文 明	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	(理学部教授)
"	松 本 勲 武	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	"
"	真 島 秀 行	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	"
"	小 林 彰 夫	教授 (家政学部) 併任期間 平成10年3月31日	(生活科学部教授)
"	島 田 淳 子	教授 (家政学部) 併任期間 平成10年3月31日	"
◇ 休 職			
9. 10. 1	佐々木信 一	休職期間更新 期 間 平成10年3月31日	(会計課)
◇ 退 職			
9. 9. 30	定 松 文	辞 職 承 認	助手 (文教育学部)

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
9. 10. 1	成田 汀満	講師 (生活科学部)	10. 3. 31	聖徳大学教授 東京ガス株式会社システム部長 東洋大学教授 武蔵大学教授 情報図書館RUKIT館長 中外製薬株式会社顧問 姫路工業大学教授 日本女子大学教授 慶應義塾大学助教授 城西大学助教授 広島市立大学国際学部教授 理化学研究所副グループディレクター
"	坂本 洋三	"	"	
"	岡本 信定	"	"	
"	川崎 美意子	"	"	
"	小玉 儀俊	"	"	
"	東本 岩一	"	"	
"	白宮 綾子	"	"	
"	宮西 井林	"	"	
"	綾西 井林	"	"	
"	小坂 井屋	" (大学院人間文化研究科)	"	
"	土屋 清順	"	"	
"	清西 澤田	"	"	
"	川松 本場	"	"	
9. 10. 5	馬場 由子	" (附属小学校)	9. 11. 5	

◇ 任用更新

9. 10. 1	渡辺 千歳	講師 (文教育学部)	10. 3. 31	
"	石神 健一	" (生活科学部)	"	
9. 10. 16	杉浦 元	" (附属中学校)	"	

◇ 併任

9. 10. 1	栗田 禎子	講師 (文教育学部)	10. 3. 31	千葉大学助教授 東京大学助教授 筑波大学講師 筑波大学教授 東京大学教授 筑波大学助教授 国立特殊教育総合研究所主任研究官 筑波大学教授 千葉大学助教授 東京学芸大学助教授 東京大学助教授 神戸大学教授 東京工業大学教授 東京農工大学助教授 一橋大学教授 東京大学教授 千葉大学助教授 北海道大学助教授 東京大学教授 東京大学講師 国立遺伝学研究所助教授 東京工業大学教授 筑波大学教授 東京大学助教授 千葉大学教授 千葉大学教授 東京大学助教授 東京大学助教授
"	田原 裕典	"	"	
"	鈴木 西子	"	"	
"	今藤 二子	"	"	
"	伊窪 真吉	"	"	
"	落合 真紀	"	"	
"	仲落 司成	"	"	
"	森近 藤川	"	"	
"	長谷川 孝一	"	"	
"	石井 源信	" (理学部)	"	
"	間下 克哉	"	"	
"	田中 勝利	"	"	
"	林守 隆彦	"	"	
"	西山 野栄	"	"	
"	山田 健裕	"	"	
"	福田 一穂	"	"	
"	上島 来正	"	"	
"	寶来 正澄	"	"	
"	寶来 洋一	"	"	
"	西原 亮一	"	"	
"	鷹野 木島	"	"	
"	三宅 裕次	"	"	
"	高田 邦次	"	"	
"	庄田 中郎	"	"	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
9. 10. 1	山本雅明	講師 (理学部)	10. 3. 31	東京大学教授
"	山中英明	" (生活科学部)	"	東京水産大学教授
"	西村敏英	"	"	広島大学助教授
"	上野川修一	"	"	東京大学教授
"	豊田正武	"	"	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
"	佐藤俊教	"	"	筑波大学教授
"	市川雅教	"	"	東京外国語大学助教授
"	大塚雄作	"	"	メディア教育開発センター教授
"	武藤安子	"	"	横浜国立大学助教授
"	阿内藤正誠	"	"	国立社会保障・人口問題研究所副所長
"	柴田幸恵	"	"	筑波大学教授
"	中山美和	"	"	千葉大学助教授
"	"	"	"	工業技術院物質工学工業技術研究所首席研究官
"	藤井恵介	"	"	東京大学助教授
"	安達淳	"	"	学術情報センター教授
"	北本勝ひこ	"	"	東京大学教授
"	井上圭三	" (大学院人間文化研究科)	"	東京大学教授
"	細谷暁	"	"	東京工業大学教授
"	小林昭	"	"	東京大学助教授
"	西原清	"	"	筑波大学教授
"	村松泰子	"	"	東京学芸大学教授

◇ 兼 担

9. 10. 1	館かおる	講師 (生活科学部)	10. 3. 31	教授 (ジェンダー研究センター)
"	松木正子	" (文教育学部)	"	附属小学校教諭
"	長坂利厚	"	"	"
"	遠藤修一	"	"	"
"	木村真冬	"	"	附属中学校教諭
"	佐々木和枝	" (理学部)	"	"
"	園部幸枝	"	"	"
"	村井利文	"	"	附属高等学校教諭
"	磯貝文男	"	"	"

◎外国人研究員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 契 約				
9. 9. 5	フラダーン ピーナ	ジェンダー研究センター	9. 12. 20	

諸 報

○平成9年秋の叙勲について

平成9年11月3日の秋の叙勲で本学名誉教授福場博保氏が勲二等瑞宝章を、同じく頼 惟勤氏が勲三等旭日中綬章を、同じく林田 侃氏が勲三等旭日中綬章を受章されました。

○中学校教育功労者表彰について

中学校教育50年を記念して、長く中学校教育に従事し、中学校教育の振興に功労のあった者として附属中学校 花田修一 教諭が、平成9年10月30日に文部大臣表彰されました。

○研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
第48回文部省会計事務特別研修	平成9年9月16日 ～ 10月3日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者	会計課・司計係 中村 一吉	文部省
第32回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修会	平成9年9月29日 ～ 10月3日	現在会計事務に従事し、かつ1年以上の会計事務経験を有する者	会計課・用度係調達主任 村山 恵子 会計課・出納係 渡辺 信子	文部省及び山梨医科大学
平成9年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成9年10月6日 ～ 10月9日	① 係長又は係長相当の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	施設課・工営第一係長 庄司喜久夫 学務課・教務係長 斎藤 正廣	文部省及び東京芸術大学・筑波大学
平成9年度国立学校等課長補佐級研修	平成9年10月14日 ～ 10月17日	平成8年度の本研修後に新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐及び専門員（職制定数上の専門員をいう。）に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	庶務課・専門員 柿澤 秀春	

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成9年度六大学等事務系中堅職員研修 (東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、東京商船大学、東京水産大学、お茶の水女子大学及び学術情報センター)	平成9年10月15日 ～ 10月17日	六大学等の職員で、実施時期にⅢ種採用でおおむね8年の経験、Ⅱ種採用でおおむね3年の経験を有する事務系職員並びにこれらと同等と認められた者	庶務課・附属学校係 河野 暢子 庶務課・大学院係 鈴木 孝 会計課・用度係 関口 健治 会計課・用度係 渡辺 暢宏 施設課・企画係 宮内 朝彦 入学主幹付・入学試験係 菊池 慶文	お茶の水女子大学
平成9年度関東甲信越地区国立学校事務電算化担当職員B研修	平成9年10月20日 ～ 10月24日	国立学校事務電算化担当職員A研修を受講した者又は、プログラミングの実務経験が1年以上で、事務の電算処理を担当する職員	会計課・用度係 竹下 良久	文部省及び東京大学

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡 航 種 目
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	駒 込 武	連 合 王 国 アイルランド	国際教育史学会、「超人の形成 (Shaping The Superman)」 編集会議に出席及び報告	9. 9. 1～ 9. 9. 9	外国出張
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	内 田 正 子	連 合 王 国	ヴィクトリア・アンド、アルパー ト美術館・大英図書館・ユニバー シティ・カレッジにおける資料 収集	9. 9. 1～ 9. 9. 28	海外研修
理 学 部 ・ 教 授	松 本 勲 武	ス イ ス 連 邦	第14回国際複合糖質会議に参加・ 発表	9. 9. 7～ 9. 9. 13	外国出張
理 学 部 ・ 助 教 授	小 川 温 子	ス イ ス 連 邦	第14回国際複合糖質会議に参加・ 発表	9. 9. 7～ 9. 9. 14	外国出張
人間文化研究科 ・ 教 授	富 永 靖 徳	フ ラ ン ス 共 和 国 イ タ リ ア 共 和 国	超高分解能光器DMDP2000の 研修、情報収集	9. 9. 7～ 9. 9. 17	外国出張
理 学 部 ・ 助 教 授	千 葉 義 和	ア メ リ カ 合 衆 国	Developmental Biology of the Sea Urchin X I に出席及びニュー ヨーク州立大学における研究打 合せ	9. 9. 10～ 9. 9. 23	外国出張

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種目
理 学 部 ・ 講 師	清 本 正 人	アメリカ合衆国	Developmental Biology of the Sea Urchin X I に出席	9. 9.10～ 9. 9.16	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	鷹 野 光 行	イタリヤ共和国	ローマ時代の別荘遺跡発掘調査	9. 9.11～ 9. 9.20	外国出張
附 属 小 学 校 ・ 教 諭	若 林 富 男	アメリカ合衆国	平成9年度在外教育施設巡回指導	9. 9.12～ 9. 9.22	外国出張
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	平 岡 公 一	連 合 王 国 フ랑스共和国	社会政策・社会保障政策の動向についての資料収集	9. 9.12～ 9.10. 2	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	徳 丸 吉 彦	台 湾	台湾大学大学院での講演及び資料収集	9. 9.13～ 9. 9.17	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	本 郷 逕 子	オーストラリア	本学学生の日本語教育研修指導及びオーストラリアにおける日本語教育の現状見学	9. 9.15～ 9. 9.23	海外研修
附 属 中 学 校 ・ 教 諭	坂 下 英 喜	アメリカ合衆国	補習授業校におけるカリキュラム開発に関する実験授業及び研究会出席	9. 9.18～ 9. 9.23	海外研修
附 属 中 学 校 ・ 教 諭	加々美 勝久	アメリカ合衆国	補習授業校におけるカリキュラム開発に関する実験授業及び研究会出席	9. 9.19～ 9. 9.23	海外研修
生 活 科 学 部 ・ 助 教 授	田 辺 新 一	アメリカ合衆国 カ ナ ダ スウェーデン王国 デンマーク王国	ヘルシービルディング97におけるワークショップチェアマン及びスカンジナビア住宅ワークショップ出席	9. 9.26～ 9.10.13	外国出張
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	内 田 正 子	連 合 王 国	18～19世紀イギリス文学研究	9. 9.29～ 10. 9.28 (帰国予定)	海外研修
生 活 科 学 部 ・ 講 師	藤 原 葉 子	フ랑스共和国	国際動脈硬化学会参加及び研究発表	9.10. 4～ 9.10.11	外国出張

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
理学部 ・助教授	松崎克彦	アメリカ合衆国	日本学術振興会海外特別研究員として「クライン群と双曲多様体」の研究	9.10.13～ 10.10.12 (帰国予定)	外国出張
文教育学部 ・教授	森下はるみ	連合王国	第7回Dance Medicine and Science学会参加	9.10.16～ 9.10.24	外国出張
理学部 ・助教授	藤代一成	アメリカ合衆国	IEEE Visualization '97国際会議にて論文発表	9.10.19～ 9.10.26	外国出張
生活科学部 ・助教授	徳井淑子	フランス共和国 連合王国	パリ社会科学高等研究院における西洋中世服飾の研究及び大英図書館等における資料収集	9.10.21～ 10.8.20 (帰国予定)	外国出張
人間文化研究科 ・助手	小塩さとみ	アメリカ合衆国	民族音楽学会大会出席	9.10.22～ 9.10.28	海外研修
文教育学部 ・教授	徳丸吉彦	アメリカ合衆国	民族音楽学会出席及び資料収集	9.10.23～ 9.10.29	海外研修
生活科学部 ・教授	袖井孝子	大韓民国	東北亜老人福祉会議において基調報告	9.10.29～ 9.11.1	外国出張
文教育学部 ・教授	小風秀雅	連合王国	「19世紀イギリスの対日政策」に関する資料の調査・研究	9.5.25～ 9.9.29	海外研修 (期間変更)
文教育学部 ・助教授	新井由紀夫	連合王国 フランス共和国 イタリア共和国 スペイン アメリカ合衆国	イギリス中世におけるジェントリの社会的結合に関する研究及び史料収集	8.7.20～ 9.9.29	海外研修 (期間変更)
理学部 ・講師	作田正明	アメリカ合衆国	植物の防御遺伝子の発現機構の研究	8.7.19～ 10.3.24 (帰国予定)	海外研修 (期間変更)

○附属中学校創立50周年記念事業の実施について

本校は、東京女子高等師範学校附属高等女学校を前身とし、昭和22年4月に学制改革により、東京女子高等師範学校附属中学校として発足、その後、幾多の変遷を経て昭和55年お茶の水女子大学附属中学校となり、現在に至っている。本年（平成9年）、創立50周年を迎え、各種の記念事業を実施してきた。

私たちにとって創立50周年記念事業は、単に大人だけの形式的な行事で終わるのではなく、子ども一人一人が50周年を機に何かを考え、試み、参加するものでありたいと願ってきた。生徒会が中心となった夏の自由服着用の試行や、生徒全員が参加した50周年記念シンボルマーク及び七宝焼きの制作、「50周年に思う」という題の作文、さらに式典当日の学年合唱祭の開催もこの考え方の反映である。また6月に行われた体育大会や9月末の生徒祭等の各種の行事のいろいろな場面で50周年を迎えた喜び、感慨、明日への飛躍の思いが見られた。

創立50周年記念式典は、平成9年10月9日午前10時より、大学及び附属関係者、旧職員、附属学校園の同窓会、PTA関係者、鏡水会（附属中学校教育後援会）、附属中学校保護者の方々及び生徒、教職員等およそ600名の出席を得て、大学講堂（徽音堂）で開かれた。第一部の式典は、本校校長田宮兵衛の式辞に始まり、お茶の水女子大学佐藤保学長、附属中学校PTA広瀬弘忠会長、鏡影会柴山哲男前会長からお祝いと励ましの言葉をいただき、最後は、山木直生徒会会長のはつらつとした、さわやかな決意の言葉で締めくくられた。各氏のご挨拶の詳細は、平成10年3月刊行予定の「創立50周年記念誌」に掲載させていただきます。

第二部は50周年記念シンボルマークの表彰と七宝焼制作品の披露があった。シンボルマークは、生徒が美術の時間に50周年にちなんだデザインを考え、制作したもので、作品は各学年の廊下に展示され、生徒や教員の投票によって入選作品が選ばれた。入選作品の一部はPTA日より50周年記念号に紹介されたり、創立記念グッズのマークとして採用された。また、「50周年記念誌」にも掲載されることになっている。

七宝焼も生徒一人一人が10cm四方の陶版に絵つけ薬で好みのデザインを作り、それを1学年分張り合わせたものである。私たち教員も参加し、3学年でおよそ畳1枚分の大きさのものが3枚できあがった。大きな木の枠にガラスもはめられ、現在中学校玄関を華やかに飾っている。



祝辞を述べる佐藤学長

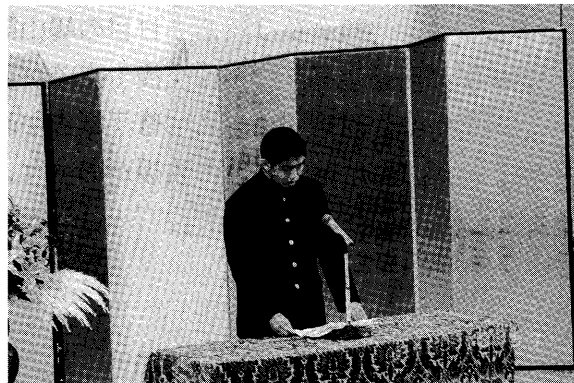
およそ20分の休憩の後、第Ⅲ部は学年合唱祭。1年生はアフリカ民謡から2曲。臨時編成とは思えない演奏ぶりを見せた「オーケストラ」を伴奏にドイツ語の宗教曲を聞かせた2年生。そして3年生の「大地讃頌」の歌声は出席者にすがすがしい感動を与え、式典行事の最後を飾るにふさわしいものであった。

全体的には簡素なものであったが、和やかな雰囲気の中で、生徒の全員参加という所期の目的を達成できた式典であった。

附属中学校の直接の主催ではないが、同窓会の鏡影会の主催による50周年記念コンサートが11月30日サントリーホールで開かれる。この音楽会は、音楽学校ではない同窓会が主催する同窓生によるコンサートとして注目を浴び、過日、新聞紙上でも紹介された。また、このコンサート終了後、同じサントリーホールの小ホールで、鏡影会と教育後援会の鏡水会の共催で記念祝賀パーティも開かれることになっている。

最後になりましたが、これまで述べてきた各種記念事業の実施に際しましては、創立50周年記念事業後援会をはじめ、鏡影会、鏡水会、保護者の方々、そして多くの関係者の方々から暖かいご援助を頂きましたことをこの紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

(附属中学校教頭 井上 泰次)



生徒代表あいさつ



学年合唱祭



七宝焼制作品除幕式

○六大学等事務系中堅職員研修を開催

平成9年度六大学等事務系中堅職員研修が本学の当番で、10月15日（水）から17日（金）までの3日間にわたり、理学部3号館の会議室を会場に実施された。

この研修は、六大学等（東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、東京商船大学、東京水産大学、学術情報センター及びお茶の水女子大学）における事務系中堅職員の研修を共同で実施することにより、国立大学等の中堅職員としての一体感を養い、併せて研修の効果をあげようとする趣旨に基づき、事務系中堅職員に対して、その職務の遂行に必要な基礎的知識等を習得させるとともに、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員の資質の向上を図ることを目的とし、年1回実施されているものである。

第5回となる今回のこの研修には、六大学等の事務系中堅職員31名が参加し、橋本事務局長の「大学行政の諸問題」をはじめ、文部省高等教育局大学課中島課長補佐、井之上庶務課長、高橋会計課長らによる、現在、大学を取り巻く重要なテーマについての講義、永川保健管理センター所長による「メンタルヘルス」の講義、細矢理学部教授による「サッカーボールの文化と科学」と題した特別講演、また、外部講師による「接遇」「公務員の余暇活用」の講義を意欲あふれる態度で聞き入った。班別討議・全体討議では、与えられた課題研究、事例研究について熱心に取り組むとともに、活発な意見交換を行った。

また、研修初日の大学食堂での懇親会及び研修2日目の鳩山記念館の見学では、日頃会う機会の少ない他機関の研修生同士の情報交換や交流が活発に行われていた。

閉講式では、橋本事務局長から、研修生31名に修了証書が直接授与され、今回受講した研修の成果を今後役に立ててほしい旨の挨拶があった。

（日程及び講師）

10月15日（水）

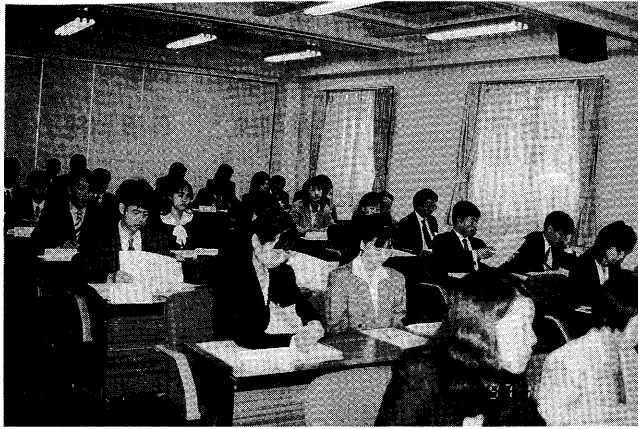
「大学行政の諸問題」	事務局長	橋本幹夫
「大学の財政について」	会計課長	高橋平治
「大学改革の推進について」	文部省大学課課長補佐	中島節夫

10月16日（木）

「人事行政の諸問題」	庶務課長	井之上純孝
「接遇について」	ビジネスアドバイザー	塚本晃子
「施設見学」	（大学紹介ビデオの視聴及び鳩山記念館見学）	
「班別討議」	（課題研究及び事例研究）	

10月17日（金）

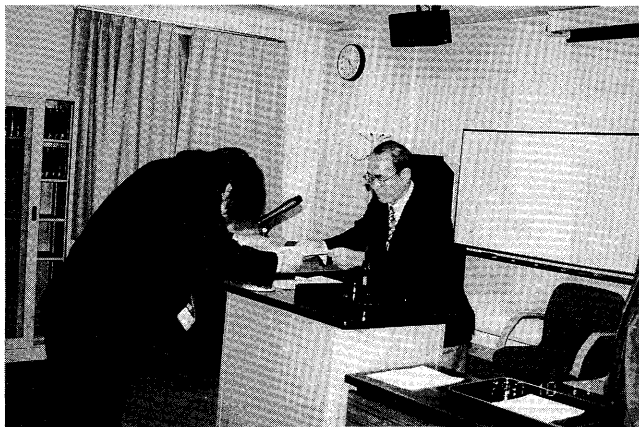
「全体討議」	（課題研究及び事例研究の発表）	
「メンタルヘルスについて」	保健管理センター所長	永川祐三
「公務員の余暇活用」	東邦生命広報部調査役	山田能通
「サッカーボールの文化と科学」	理学部教授	細矢治夫



意欲あふれる態度で講義に聞き入る研修生



班別討議に熱心に取り組む研修生



橋本事務局長より修了証書を授与される研修生

○平成9年度お茶の水女子大学総合防災訓練

平成9年度お茶の水女子大学総合防災訓練が10月28日(火)12時から13時までの間実施された。

訓練は、正午に震度6程度の大地震発生を想定した全体の避難訓練と、各種訓練の2部構成で実施された。

避難訓練では、学長を災害対策本部長として、全員の避難訓練を行うとともに、共通講義棟1号館4階に逃げおくれ者ありの想定で、消防署にハシゴ車の出動を要請し、救出訓練が実施された。

各種訓練では、救助袋訓練、地震体験・煙体験訓練、消火訓練がそれぞれ実施された。



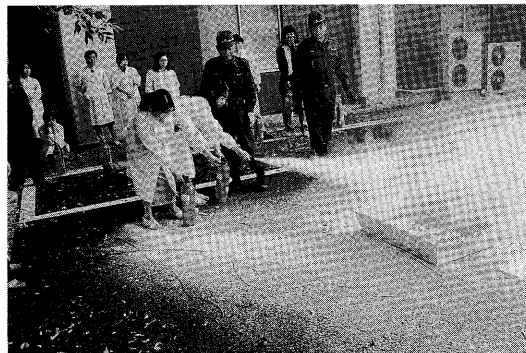
避難状況報告を受ける本部長（学長）



ハシゴ車による救出訓練



起震車による地震体験訓練



消火訓練

○健康診断

事 項	実施日時	対 象 者	受診者数	実施場所
職員特別定期健康診断 (第1回)	平成9年 9月29日	自動車運転手	1人	保健管理 センター
職員定期健康診断 (第1回)	平成9年10月 20日、21日	全職員。ただし、人間ドックの受診者 及び遠隔地勤務者を除く。	204人	

○レクリエーション行事

『歌舞伎鑑賞』

去る、10月4日(土)・5日(日)・18日(土)・19日(日)・25日(土)に国立劇場において、歌舞伎鑑賞が行われた。

このレクリエーション行事には、50名が参加し、通し狂言「黄門記童幼講釈(こうもんきおさなこうしゃく)」を鑑賞した。

『職員ボウリング大会』

去る、10月24日(金)に、池袋ブランズウィック・スポーツガーデンにおいて、平成9年度職員レクリエーション「職員ボウリング大会」が行われた。

本大会は、毎年開催されているもので、今回は、15チーム45名の参加があり、ボウリング班班長の会計課富山係長の始球式に始まり、熱戦が繰り広げられた。

なお、成績は、下記のとおり。

(団体)

- 優勝 やったぜ文ちゃん チーム
石井文弘、丸山彰英、村上恭二
- 準優勝 アル中 チーム
斎藤正廣、八重樫博、山本直之
- 第3位 ウシワカ チーム
岡田健一、柏田理恵、菊池慶文

(個人)

- 優勝 (男子) 柴田正造
(女子) 亀田和江



優勝 やったぜ文ちゃん チーム



準優勝 アル中 チーム

日 誌

◇諸会議

- 9月2日(火) 施設計画委員会小委員会
- 8日(月) 入学者選抜方法研究委員会
- 9日(火) 部局長会議
主任会議(生活)
主任会議(文教・理)
- 10日(水) 教授会
- 11日(木) ジェンダー研究センター運営委員会
- 12日(金) 人間文化研究科運営委員会
代議員会
- 16日(火) 紀要(自然科学)編集委員会
- 17日(水) 理学部臨時学科主任会議
カリキュラム委員会
附属学校教育研究委員会
- 24日(水) 学生委員会
事務改善研究委員会学生部専門部
会
- 25日(木) 防災委員会
部局長会議
- 26日(金) 評議会
- 29日(月) 廃棄物処理・再利用に関する検討
委員会
- 30日(火) 入学試験委員会
生活科学部カリキュラム小委員会
- 10月1日(水) 池田摩耶子・重記念奨学基金審査
委員会
- 2日(木) 購入物品機種選定委員会
- 3日(金) 事務連絡協議会
- 6日(月) 将来構想検討委員会
- 7日(火) 生活科学部拡大主任会議
- 9日(木) 自己点検・評価検討委員会
- 14日(火) 部局長会議
生活科学部主任会議
- 15日(水) 後期課程運営委員会
文教育学部教務関係事項検討委員
会
代議員会
カリキュラム委員会
理学部拡大大学院問題検討委員会
- 16日(木) ジェンダー研究センター運営委員
会
施設計画委員会小委員会
- 20日(月) 留学生専門委員会

- 21日(火) 総合コース小委員会
主任会議(文教・理)
- 22日(水) 教授会
- 27日(月) 生活科学部カリキュラム小委員会
廃棄物処理・再利用に関する検討
委員会
- 28日(火) 部局長会議
- 29日(水) 評議会
附属学校教育研究委員会
- 31日(金) 事務連絡協議会

◇行事等

- 9月1日(月) 附属高校・中学校・小学校始業式
- 3日(水) 人間文化研究科前期課程入試
～4日
- 8日(月) 国立学校等経理部課長会議(東京
医科歯科大学)
- 10日(水) 附属幼稚園始業式
日研生修了証書授与式
- 16日(火) 前学期末試験～22日
文部省会計事務特別研修
～10月3日(オリセン)
東京地区区国立大学厚生補導部課
長会議(東京工業大)
附属高等学校ダンスコンクール
- 17日(水) 国立学校等広報・文書研究協議会
(新潟大学)
- 18日(木) 人間文化研究科前期課程合格発表
メンタルヘルス研究協議会～19日
(虎の門パストラル)
- 19日(金) 自衛消防隊訓練審査会
(小石川消防署)
男女共同参画全国会議
(国立教育会館)
- 20日(土) 公開講座～11月1日
附属高等学校 輝鏡祭～21日
- 24日(水) 人間文化研究科後期課程入試
～26日
- 26日(金) 東京外大 府中新キャンパス起工
式(東京外大)
- 27日(土) 附属中学校 生徒祭～28日
- 29日(月) 関東ブロック・国立大学等会計事
務研修～10/3(山梨青年の家)

サークルリーダーズ研修
 職員特別定期健康診断
 国立3大学附属学校部連絡会議
 (東京学芸大)
 30日(火) 卒業式・学位記授与式
 大学紹介ビデオ試写会
 10月1日(水) 後期授業開始
 2日(木) 関東ブロック国立学校等施設部課
 長会議～3日(茨城大学)
 5日(日) 附属幼稚園運動会
 6日(月) 関東ブロック国立学校等係長研修
 (オリセン)
 全国大学保健管理研究集会～7日
 (鹿児島大学)
 7日(火) 附属小学校運動会
 8日(水) 国立大学等図書館協議会東京地区
 協議会人事担当事務(課)長会議
 (東京大学)
 国立大学等保健管理施設協議会
 ～9日(鹿児島大学)
 9日(木) 附属中学校創立50周年記念式典
 13日(月) 厚生補導研究協議会～15日
 (オリセン)
 15日(水) 6大学等事務系中堅職員研修
 ～17日
 就職ガイダンス
 附属高等学校防災訓練
 16日(木) 全国国立大学学生部長協議会～17
 日(長崎大学)
 教育系大学附属学校部長等協議会
 ～17日(大阪教育大)
 特別定期健康診断(放射線使用者)
 17日(金) 理学部退職教官との談話会
 関東甲信越地区国立大学長会議
 (如水会館)
 博士後期課程9月入試合格発表
 20日(月) 関東ブロック国立学校事務電算化
 担当職員B研修～24日(東京大学)
 関東ブロック国立大学等庶務部課
 長会議(埼玉大学)
 職員一般定期健康診断～21日
 21日(火) 共済組合事務担当者打ち合せ会
 (東京医科歯科大学)
 22日(水) 全国附属学校連盟副校長会議～
 24日(北海道教育大学)
 就職ガイダンス
 23日(木) 理学部帰国子女入学願書受付
 ～11/7日

生活科学部3年次編入学願書受付
 ～29日
 関東ブロック国立大学事務局長会
 議～24日(茨城大学)
 国立大学協会第3常置委員会
 (国大協)
 文京区内大学と文京区との事務協
 議会(文京区役所)
 国立22大学理学部長会議
 (KKR東京)
 24日(金) 国立大学理学部長会議
 (KKR東京)
 職員ボーリング大会(池袋)
 27日(月) 国立16大学学長懇話会～28日(大
 阪外国語大学)
 28日(火) 国立大学と産業界との研究協力事
 務説明会(千葉大学)
 総合防災訓練
 29日(水) 就職ガイダンス

MEMO